



## 春季休業を上手に活用しよう!!

### 進級する前にやるべきこと

これから春季休業に入ります。進級するにあたって、春休み中に時間をつくって実施すべき点があるので、自分の進路希望と照らし合わせて行動していきましょう。調べたり、意見を聞いたり、行動することで進路研究が深まり将来に対しての自分の意志を確認することができます。

#### ○ 保護者と進路について、話し合しましょう。

春休み中に、時間をつくって自分の将来について、保護者と話し合いをしましょう。自分の希望を話し、保護者の要望を聞き、お互いが納得した上での進路希望先を見つけましょう。一年生は、自分では不明確だった進路希望が保護者と話すことで、少しずつ明確になってきます。進路希望がはっきりすれば、早めに受験勉強や受験対策をすることができます。二年生は、三者面談等で担任を交えて話し合い、自分の意向を明らかにしましょう。特に進学を希望する際、保護者に学費等を負担してもらうので、進学にかかる費用を自分できちんと把握し、保護者に説明できるようにしましょう。

#### ○ 気になる学校や会社の情報を収集し、希望先を絞り込みましょう。

春休みに進学希望先のオープンキャンパスに参加してみましょう。新型コロナの影響で、オンラインでオープンキャンパスを開催する学校も増えました。興味のある学校に参加して、各学校の内容を比較検討してみましょう。

また、希望先の学校のホームページを活用し、複数の学校の教育理念やアドミッション・ポリシーなどの情報を集め、比較していきましょう。複数の学校案内等も取り寄せて、詳しく読み込み、自分が興味を持った学校を絞り込んでいきましょう。今の時期に学校案内を取り寄せておくことで、受験の際、募集要項を取り寄せる手続きもスムーズにできます。

公務員希望者は、警察官や消防士といった職業に何故就きたいかを考え、説明できるようにしましょう。各専門学校が公務員講座を無料で開いています。春休み中に一度参加し、他校の公務員希望者の動向を見て、受験意識を高めていきましょう。また、市販されている問題集を購入し勉強を進めていきましょう。福島県職員の次年度の試験日程もでていたので、受験計画をつくり、早めに対応しましょう。

民間企業を希望する生徒は、パンフレットやホームページで情報を収集し、会社のどのような面で興味を持ったかを説明できるようにしましょう。就職試験では、一般常識やSPIのテストを取り入れている企業も増えてきています。自分で問題集を購入し、面接・作文対策ばかりでなく、一般常識の知識も蓄えていきましょう。

#### 【公務員試験の概要】

1次試験		2次試験	
教養試験	90～120分程度で50問 政治経済・文章理解・判断推理・数的判断・資料解釈など	身体検査	消防士・警察官など
適性検査	15分で120問を解く形式	体力検査	消防士・警察官など
作文試験	60分程度で800～1000字程度を書く。	個人面接	口述試験を含む場合もあります。
		集団討論	2回面接試験をやる場合もあります。
			どの職種の公務員も行っています。

1次試験の合格発表後、2次試験の出願書類作成が職種によってあります。提出締め切りまで、時間が足りなくなる恐れがあるので早めに準備しましょう。

## ○ 学習面では、基礎固めと苦手克服に取り組む。

就職・進学にかかわらず、基礎学力の定着をはかりましょう。各教科や各学年の週末課題のできなかった部分や定期考査で間違った部分の解き直しを行い、苦手意識をなくしていきましょう。

大学受験を考えている生徒は、模試の復習をしっかりとやりましょう。全く分からなかった部分、時間がなくてできなかった部分や間違った部分の模試解説を熟読し、問題を再度解き、学力の向上に努めましょう。模試解説を読んで、授業用のノートに重要な部分を書き写したり、間違えた部分を再確認するなど、普段の授業用のノートは受験対策のノートに作りかえていくことも学力を定着させる一つの方法です。

## ○ 志望校の入試の仕組みや問題を分析する。

志望校がある程度決定している生徒は、希望する学部・学科の入試科目は何か。どんな種類の入試（一般選抜（一般入試）、学校推薦型選抜（推薦入試）、総合型選抜（AO入試）など）が実施されるのか。入試の種類ごとの傾向と対策を調べてみましょう。

入試科目の選択や科目ごとの配点など、学校によって入試方法はさまざまです。学校推薦型選抜や総合型選抜で受験する際は、通常、合否判定ができるまで、他の学校を受験することができません。第一希望の学校を選び出せるように進路研究をしっかりと進めていきましょう。

## ○ 教科書を購入したならば、最低限、教科書・資料集を読んでおくこと。

新学年の教科書・資料集・問題集を購入したと思いますが、新学期の最初の授業で初めて教科書を開くことがないように注意しましょう。春休み中に、教科書や資料集を読んで、学習内容を確認しておきましょう。

特に三年生は、1学期の成績が重要視されます。その他に部活動も最後の大会を迎えて忙しい時期です。どちらもベストな結果が残せるよう春休み中から努力していくことが大事です。

# オープンキャンパスについて

日本の大学では、およそ20人に1人が退学・休学してしまうのが現状です。休学の場合、「海外留学」や「病気・けが」などの理由が多くなりますが、退学の約半数が「学業不振」「学校生活不適応」「就職」「転学」といった“大学が提供する学びや生活”と“学生がやりたいこと”のミスマッチを理由に挙げています。こうしたミスマッチを防ぐためにも、オープンキャンパスを利用し、進学したい大学を絞り込んでいきましょう。

なお、オープンキャンパスに参加する場合は、担任や部活動の顧問に連絡してから参加するようにしましょう。

## ○ 事前準備をして、目的を持って参加しよう。

オープンキャンパスは毎日実施されているわけではありません。行ってみたい大学が見つかったらホームページなどで日程を調べましょう。事前予約が必要な場合もあるので要注意です。参加する前には、資料やホームページを見て、学校について調べておくと、より有益なオープンキャンパスになります。

折角ですから参加する際は、ただ見学するのではなく、その学校を志望する理由を見つけることを目標にしましょう。学校の特長・強みは何か。自分が学びたい分野の学科はあるか。施設や設備が学びやすい環境に整備されているか。どのような資格が取得できるか。卒業生の進路先はどうなっているかなど、自分が確認したい項目を掲げて参加し、他の学校と比較できるようにしましょう。

## ○ 学校生活のイメージし、受験に対してのやる気を向上させよう。

実際にキャンパスに行って施設や設備を見学したり、教員や先輩たちの話を聞いたりして、学校の魅力を肌で感じることができれば、受験勉強のモチベーションをあげることに繋がります。

また、学校推薦型選抜では、参加自体が評価されるわけではありませんが、志望理由書の記入や面接試験の時には、オープンキャンパスで得た知識や体験を書いたり、話したりすることができ、志望理由の説得力を高めることにつながります。

模擬授業は、大学で実際に行われている授業を30分から1時間程度に短縮し、高校生向けにアレンジしたものです。学部や学科の特徴や学習内容はもちろん、学校の雰囲気や肌で感じることが出来ます。学校や学科ごとに趣向を凝らした授業も多いです。授業中の雰囲気は自分に合っているのか。授業内容に興味や関心を持つことができたかなど、自分で確認しましょう。